

報道関係各位

2021年11月30日
株式会社サンシャインシティ

水族館 & いきものを深掘り！発見がいっぱい！

いつでも、どこかで“何かが起きている”サンシャイン水族館がお届けする

水槽の水を全部抜く!!

いきものディスカバリー通信vol.7「落水清掃」

サンシャイン水族館スタッフの技術と工夫がいっぱいの大掃除!!

サンシャイン水族館(東京・池袋、館長：丸山克志)では年に数回、特定的水槽の落水清掃を実施しています。

落水清掃とは、水槽内の生き物を保護してバックヤードへ移動し、水を抜いて汚れを落とす大掃除のことです。水槽ごとに違う生き物の大きさや、水槽内造作物の複雑さに気を付けながら行われる、普段の水族館ではなかなか見られない水族館の大掃除についてご紹介します！



■ 落水清掃とは

水族館の水槽内は通常、飼育スタッフが潜水してアクリルや擬サンゴなどをこすって掃除していますが、一定の時間が経つと通常の清掃では汚れが落ちにくくなるため、水槽の水を排水して清掃する「落水清掃」を年に数回行います。水槽内の生き物をすべて移動し、飼育スタッフが水槽の中で大掃除します。

【清掃の手順】

① 生き物を取り上げるためひざ上くらいまで排水し、手早くかつ丁寧に生き物を保護。その後、バックヤードの予備水槽に生き物を移動します。



スタッフ特製タモで手早く生き物を保護



水槽の上にいるスタッフに手渡し



バケツリレーで移動



砂もしっかり回収して洗浄

② 水槽内を塩素にて漂白・殺菌し、水洗い後、中和剤を散布し水洗いします。

③ 新しい海水を注水後、循環ポンプと水温調節機を動かします。

④ 翌朝、生き物を予備水槽から移動し水槽に戻します。



空になった水槽を大掃除



バックヤードでは生物数の確認をしながら、生き物の病気を防ぐため、淡水につけて寄生虫を落とす淡水浴を実施

※画像はイメージです。

報道関係者様からの
お問い合わせ先株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・鳴海・平田・大浦
TEL.03-3989-3329 (平日9:30~18:00) FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp共同ビーアール株式会社 PRアカウント本部9部 内山・前山・高橋
TEL.03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp

■ 落水清掃に関するサンシャイン水族館裏話♪

サンシャイン水族館オリジナル！落水清掃を効率化させる“ビニダモ”とは
水槽の中の生き物を取り上げる際に、生き物にスレ（擦過）が生じるのを防ぐため市販の網ではなく、自作のビニール製の道具（通称：ビニダモ）を用います。また、追い回すのではなく追い込むようにして捕まえ、移動用の水槽に移してバックヤードの予備水槽へ運びます。展示されている魚が大きいと、捕まえたビニールに入った状態のまま次々と手渡しして運びます。その光景はまるでバケツリレーのよう！生き物の負担を少なくするように配慮しながら清掃は行われます。水槽を綺麗に保つだけでなく、消毒をして、衛生的な環境になるよう努めています。

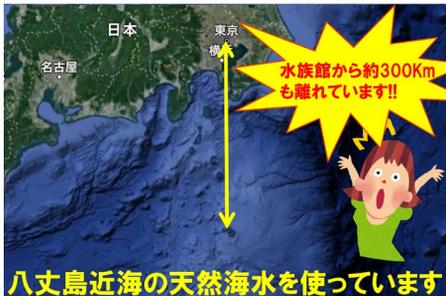


ビニダモ

新しい海水はどこから、、、

サンシャイン水族館で使う海水は、伊豆諸島の八丈島近海から運ばれてきます。東京と伊豆諸島を結ぶ海運会社の船が船体を安定させるために船底に入れるバラスト水を転用、東京の港で海水輸送車に積み替えて運搬しています。地下の海水貯水槽に蓄え、屋上にある高架水槽にポンプで揚水し、必要に応じて水族館（10・11階）で使用します。

水族館の海水はどこからくるの??



船からトラックに 移し替え…



次は 大型トラックで運搬！



落水清掃のアレコレ♪「沖縄の海～白保～」水槽編



「沖縄の海～白保～」水槽

水槽内の魚の数は？

12種約270点

水槽の中の水の量はどのくらい？

約15 t (= 15000 ℓ)

何人で大掃除する？

水槽内に2名、水槽上に1名、その他3名ほどで実施します。

この水槽掃除の大変なところ

落水時、デバスズメダイが擬サンゴの隙間に隠れてしまうので探すのに一苦労！



デバスズメダイ

※画像はイメージです。

報道関係者様からの
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・鳴海・平田・大浦
TEL.03-3989-3329 (平日9:30～18:00) FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部9部 内山・前山・高橋
TEL.03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp

屋内だけじゃない！幅約12mの落水清掃「天空のペンギン」水槽編



天空のペンギン



観覧面から見た清掃している様子



水槽上部から見た清掃している様子

【内容】

「天空のペンギン」水槽はサンシャイン水族館を象徴する水槽の1つであり、水槽内は通常飼育スタッフが潜水してアクリルをこすって掃除しています。しかし、太陽が降り注ぐこの水槽では一定の時間が経つと通常の清掃では汚れが落ちにくくなるため、水槽の水を排水して清掃する「落水清掃」を年に数回行います。ペンギンが水槽から出た後に排水し、滑りやすい水深の浅いエリアと水深の深いエリアを含めて、飼育スタッフが水槽の中を大掃除します。普段は、ケープペンギンが都会の空を飛んでいるように泳ぐ幅約12mの水槽の魅力を保つために行われる清掃は水族館の大事な作業となっています。

【手順】

- ①ペンギンが全羽、上陸した後に排水を開始し、アクリル底面が出てくる水深の浅いエリアから塩素清掃を開始。カーブしている滑りやすいアクリルに注意を払いながら、アクリルをこすっていきます。
- ②水深の深いエリアは梯子で降り、アクリルの塩素清掃を開始します。カーブしている面には手が届かないので、スタッフ自作の長い柄の清掃道具などを用いて隅々まで磨いた後に、塩素を流します。
- ③水量が多いので、翌朝まで3回に分けて注水。営業開始前には、きれいになった水槽にいつものようにペンギンが泳ぎ始めます。

落水清掃のご取材および番組出演者様の落水清掃の一部ご体験等、ご調整が可能です。（※要日程調整）

12月13日（月）10:30～15:30頃「沖縄の海～白保～」水槽

12月21日（火）10:30～15:30頃「オーストラリアの海～グレートバリアリーフ～」水槽

12月29日（水）15:00～20:00頃「クラゲトンネル」水槽

※開始・終了時間は前後する場合があります ※一部撮影しづらい水槽もございます

※13日（「沖縄の海～白保～」水槽）は貴番組レポーターやタレントの方（1～2名）が生き物の移動のお手伝いやバックヤード作業の見学をするなどの体験取材が可能です（要事前相談）

ご取材の申込に関して

下記、必要項目をご記入の上、メールにてご連絡をお願いいたします。ご取材お待ちしております！

株式会社サンシャインシティ 広報担当：成保・鳴海・平田・大浦 メールアドレス：pr@sunshinecity.co.jp

- ①貴社名②貴媒体(番組)名③ご担当者名④人数⑤撮影機材(スチール・デジカメ ムービー)⑥体験取材有無
⑦放送・掲載予定日⑧ご連絡先(TEL・メール)⑨その他ご要望など

いきものディスカバリー通信 次号もお楽しみに！

■サンシャイン水族館 概要

所在地：東京都豊島区東池袋3-1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル・屋上

営業時間：10:00～18:00、9:30～21:00（3月19日～）※最終入場は終了1時間前 ※変更の場合あり

入場料：大人(高校生以上)2,400円、子ども(小・中学生)1,200円、幼児(4才以上)700円

問合せ先：サンシャイン水族館 03-3989-3466 <https://sunshinecity.jp>

※金額はすべて税込です。※画像はイメージです。

報道関係者様からの
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・鳴海・平田・大浦
TEL.03-3989-3329（平日9:30～18:00）FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部9部 内山・前山・高橋
TEL.03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp